

令和4年度（2022年度）

動物愛護管理センター運用実証事業（道央／道東）の実施について

課題

「北海道における動物管理愛護業務のあり方」（令和3年10月）（抜粋）からセンターの運用開始に向け、以下の検討が必要。

- ・ 本道の広域性を踏まえ、地域の状況に応じ、関係団体と連携した収容機能の確保や運営
- ・ 関係団体と連携した犬猫の譲渡推進
- ・ 動物愛護団体等との継続的な連携の仕組み
- ・ 民間活力の導入、既存施設や遊休施設の有効活用
- ・ 動物福祉の充実

対応

上記課題を踏まえ、令和4年度は道央・道東地区において、実証事業を行うとともに、民間団体等との連携体制を構築する。

実証事業の内容

- （1）保健所で長期収容となった犬猫の搬送及び飼養
- （2）新しい飼い主さがしによる犬猫の譲渡
- （3）動物の愛護及び適正な飼養に関する啓発活動
- （4）動物愛護管理センターの運用にあたっての連携方策の検討